

災害派遣職員レポート

No.38 H23.7.5

陸前高田で活動しているえびな北 藤村補佐の報告です。

陸前高田に来て4日目となります。ここまでの報告を簡単に。

竹駒地区の仮設住宅にて青空サロンを運営すること引き継いで活動をしています。

青空サロンは仮設住宅入居者の方々が気軽に集って「お茶っこ」を飲みながら地域コミュニティとして機能できるような場所を目指しています。

青空サロンが開設して2週間経ち、住民の中にある程度定着して来た様子です。ある男性（杖使用・独居）は「ここがあるので、孤独にならずに済んでいる。来れる場所があることは、ありがたい」と話して下さいました。毎日、顔を出して「お茶っこ」飲んで、世間話をして帰っていくおばちゃん達もたくさんいます。学校が休みの土日は保育園から中学生まで入れ替わり立ち代り遊びに来てくれます。

しかし、徐々にですが問題点も出てきました。（竹駒仮設住宅には元々、竹駒地区に住んでいた方々が2/3で、それ以外の方々も1/3住んでいます）青空サロンは「竹駒地区の人ばかりで他地区出身者は参加しづらい。このままでは竹駒仮設の中で分断され孤立する人が出てくる。」という指摘が住民よりありました。これは青空サロンが目指しているところと全く反対のことです。また在宅酸素を使用しガンも患っている、という男性高齢者からは「話声がうるさくてたまらない。私を殺すつもりか。私は静かな場所でゆっくり休みたいのだ」とお叱りも受けました。色々な意見が出てくることは、青空サロンを運営していく上で歓迎すべきことですが今後、どの様に運営していくか大いに考えさせられました。

明日は、毎週火曜日運営の細根沢サロンがあります。このサロンは2つの仮設住宅地区を対象に運営していきます。毎週プログラムを替えて行く予定ですが、明日は「お茶っこ飲み会」です。全仮設住宅に訪問しチラシも配りました。どれくらいの方が集まってくれるのか、今から楽しみです。

理事長より

サロンが始まってみると、また新しい問題が出ていますね。

①竹駒地区住民と他地区から来た住民の融合をどう図るか。

②サロンを楽しみにしている人と「うるさい」と思っている人の立場をどう調整するか。

知恵の出し所ですね。

菅原所長より

中心会シスターズ（杉山・濱口チームが呼ばれていたそうです。）の若い二人の後任で藤村・福田のミドルチームがいじけていました。「若さには、かなわない・・・」って。

でも、「負けられないのでおじさん・おばさんのベテランの味で、取り組みます。」と言ってました。

陸前高田第一中学校避難所で活動中のえびな北高齢者施設西職員の報告です。

お疲れ様です！HP 確認しましたので、報告します。

高田一中地域でのサロンの立ち上げの進み具合について→先日、県社協の川井さんが顔出しに来てくれて、現在の被災者の方の悩みや現状、ADL、私達が関わっている内容などを報告した際に、サロンの進み具合についての話も聞きました。

高田一中地域は、まだ自治会が立っておらず、集会所は自治会が運営する為に社協だけで運営することは出来ず、自治会が出来次第、自治会と社協が連携してサロンを運営していってくれるとのことです。すでにだいぶ動いて下さっていて、サロン実施に伴う新たな職員も採用することになり、8月開始を目標に順次行っていくのでサロンに関しては任せて安心して下さいと話をしていただきましたので、自分達は絆の丘の方のケア（仮設に入った方も、都合のいい日はこちらに顔出ししに来てくれている。）に専念し、頑張っています。

現在、有志のボランティアの方が、お茶会の際に、遠い地域に移られた方の送迎を行っている（家族送迎あることもあり）ので、言うなれば個人での動きでもあり、送迎中何かあった際に何の保証もないのが怖いところではありますが…（組織的に動いている訳ではないので）

学校はあくまで、避難する為だけに借りている場所であり、今月末には学校側に返却するので、サロンはまた別の場所に展開していく形になります！ 以上です。

理事長より

第一中学校の地域でのサロン開設について、岩手県社協も努力してくれているようですね。

でもそれは、中心会の職員が「サロンが必要だ」というメッセージを発信したことも寄与していると思います。「何が必要か」に気づく力、それを発信する力の大切さですね。その力は「この人々を少しでも幸せにしたい」という情熱によって生まれるものですね。

菅原所長より

地域活動としてサロンを考えれば、自治会の立ち上げを待つ自主活動の形にしていきたいということがあるのでしょう。

生活ってやはり住民のものですから、自分たちに必要な物をどうやって作り上げていくのかを考えて行かないと継続されません。

弱い立場の方々が救われる内容に目が向けられる様にして行って欲しいと思います。

中心会の職員が、与えられたミッション以外で、あれこれ気付けることは発信する必要があります。自分たちができないということではなく、この人たちに必要かどうかの発信が良いと思います。

あと少しの期間ですが、しっかり状況をみて被災地の方々のために考えて行動してください。